

祠の前で願ったら女の子になれた





「あの……好きです！」  
「もし良かったら、俺と付き合ってください！」  
「え……？」  
「あ……その……」  
頼む……頼む……



「ごめんなさい……」  
「私その……君のことは……」  
あ……終わった……  
「その……恋愛とか……その……」  
「対象としては見れなくて……」



「そう……ですか……」

「あつーでも、君のことが嫌いとかでは無くて……」

「大丈夫ですよ……」

「あつ……あの……」

「帰ろう……」

「君が勇気を出して言ってくれたように……私も言うかね？」

「？」



「私……女の子じゃないと駄目なの……」

「え？」

「正直、君はいい人だから……」

「その女の子だったら、良かったなって……」

「なんて考えてて……でも、そんなの変だよね……」

「叶うはずも……」

「ごめんね……」

「そう……ですか……」

「女だったら……か……」



「本当に……俺が女だったら……」

「ありだったんですか……?」

「……うん。」

「俺……女だったら……良かったな……」

「変な事言っでごめんね……?」

「でも、本心なの……私……女の子じゃないと……」



女だったら……良かったのに……

叶うなら……女になりたい……

「叶えてあげようか……？」

「え？」

「お前の願い……叶えてあげるよ」



「え!?!」

「やあ……」

「え……え……だれ……」

「お前たちでいうところの神みたいな存在かな」

「ここの前で願ったんだ……」

「だから叶えてあげる」

「ふふふ」

「ほら…この祠だよ」

「ここは私の家なんだけども…」

「こんなとこに祠…全然気が付かなかった…」

「つていうか…こんなとこにあったか？」

「この前で願ったら叶えてやらんといけなくてね」

「だから叶えるよ」





「じゃあ…さっそく…」

「その身体が女だったらよかったのだから？」

「私に任せろ…」



「この一物も…消してやる…」

「胸部も…女らしい膨らみに…」

「腰のライン…身体つき…」

「お前が望む…姿に変えてやる…」

ドドド…



「ほら…無くなった…」  
「胸もできた…」  
「男らしい部分はもう…」

♡ ぐわん♡  
♡ ぐわん♡



「無くなったよ……♡」

「嘘……」

「嘘じゃない……本当さ……」

「これでお前の望みは叶ったろ……」

「応、対価としてお前の「物」はもらっておく♡」



「これでお前はあの女と……ふふ」  
「これから元の世界に戻す……」  
「沢山楽しめよ？」  
「折角の女の身体だ……」  
「思う存分に……」



「はあ……はあ……」

「今の……」

「嘘……」の感触……」

「本当に女に……」



「え……」

「嘘……」

「あつ……」

「女の子みたいだ……」

「なんで……?」



「あつ……いやこれは……」  
「俺もよくわからなくて……」  
「女になりたいって思ったら……」  
「なんか……こうなって……」  
俺……女になったから……もしかして……

「本当に女の子になったんだ……」

「えっと……その……」

「私……言ったもんね……」

「君が女の子なら……」

「なんか……すくビックリしてるけど……」

「嬉しいというか……」

「じゃ、じゃあ……?」



「うん……いいよ……」

「本当……?」


「嘘なんてつかないよ……」

「や、やった!」

嬉しい……嬉しい……!

けど……





すごいスナリ受け入れたな…  
目の前で急に姿が変わったんだぞ？  
いや…でも、そんな事を考えてる場合じゃないよな！  
せつかく付き合えることになったんだ！



「それじゃ…その…」

「はい？」

「私たち…恋人って事だよな…？」

「その…はずです…」

「じゃあ…き、キスとか…」



「えー？」  
「駄目かな……？」  
「そんな駄目なんて！」  
「ぎゃ、逆に……いいんですか？」  
「私は……キス……したい……」  
マジ！本当に！？」



「俺も…したい…です…」

「本当に…?」

「それじゃ…じゃあ♡」

「…は…」



「ん……♡」

「はあん……」

や、柔らかか……

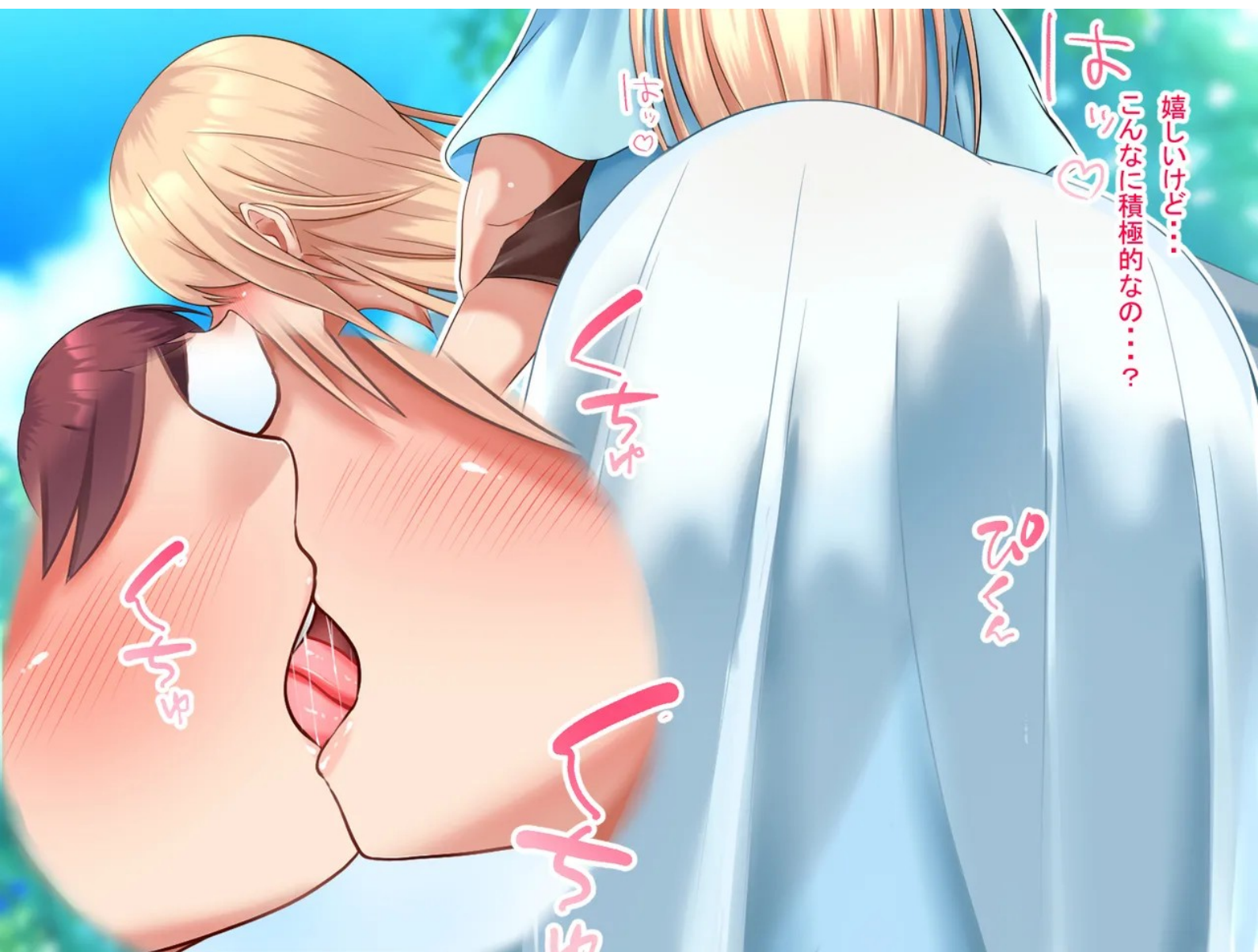
これが……唇の感触……

気持ちいい……

ちゅ♡  
ゅ♡

「んんっ!？」  
「ああ♥んんっ♥」  
舌!?!え!?!入れてきてる!?!  
いきなり!?!嘘!?!?





嬉しいけど…  
こんなに積極的な…？

はっ♡

はっ♡

くちゅ

びゅん

くちゅ

くちゅ



「はぁ♡んっ♡」  
すげえ…音…  
なんか…頭がぼーっと…

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

はぁ♡

ぐちゃ

ぐちゃ

はぁ♡

ぐちゃ



もっとな...もっとな...

「もっとな絡めて...♡」

「うん...」

「もっとな気持ちよくなる...♡」

「なるう...♡♡」

はぁ♡♡♡

はぁ♡♡♡

くちゅ♡♡

くちゅ♡♡

くちゅ♡♡



「私…私…♡」

「もう…我慢できないかも…♡」

「え…?」

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん



「はあ…はあ…♡」

「大丈夫…?」

「ううん…駄目かも…♡」





「君の身体……いいね♡」

「ううの……好き♡」

「好き♡……♡♡♡♡♡触♡♡♡♡♡」

「君の身体だよ♡」

「女の子の身体……私が教えてあげる♡♡♡♡♡」

トノ

びん

トノ

もみ♡

「いもも…」

「沢山…気持ちよくしてあげる♡」

「なんだ…身体が…ソクッて…」

「変な感じ…」

「でも、こんな外で…?」

「あはは…♡」

「あはは…」

「さわ…♡」

「あはは…」

「♡♡」





「あれ？もう乳首勃ってるっ♡♡」

「もしかして…♡」も…♡」

「濡れてきているっ♡♡」

「よく…わかんないよ…♡」

「これから…わかんないよ♡♡」

「すま…♡」

「すま…♡」

「びく…♡」

「すま…♡」

「びく…♡」

「すま…♡」



「はあ……♡」

「熱くなってきたね♡」

「ちよっ……」

「本当に始まる……!？」

びいっ

っ



「君だけ裸は可哀想でしょ?♡」

「だから...私も...♡」

「一緒に裸になれば恥ずかしくないでしょ?♡」

「それに外で裸になるの開放感がすこくて気持ちいいよ♡」

「これから沢山気持ちよくなるんだから」  
「せっかくだから最高に気持ちよくなるからね……♡」  
「こんな外で……」  
「告白しただけで……♡」まで……





「はあ♡♡」  
「これで一緒だね♡♡」  
「私の身体…♡♡♡♡♡」  
「え…その…」  
なんだこれ…すごい…エッチだ…



「す、すく…きれいで…」

「うん♡」

「み、見惚れちゃう…っていうか…」

「ふふ…♡」

「興奮する…♡」

「は、は…♡」



「ふふ……♡」

「ありがとう♡」

「……」

「すごい光景だ……」

「お願いがあるんだけど……」

「は、はい♡」



「私の…おま●」…♡」

「舐めて…♡」

「え…♡」

「…もう、濡れてるの…♡」

「君に…舐めて欲しいの…♡」

「いの…♡え、でも…」

「早く…♡」

ははは♡

ははは♡

ははは♡

ははは♡



「!?!」  
「んっああ♥」  
「ほら...♥舐めてよ♥」  
「私のおま○♥」



息が……じゅん……  
「はぁ……あつ……くはぁ」  
「口の動きが……伝わってくる……♡」  
「じゅん……舌も……舌も使って♡」  
「ぐろぐろ舐めて♡」

はぁ  
はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ



「はあ……ああ……」  
「これが……ま●こ……」  
「俺の……口に……」  
「そっ……♡それでいいよ……♡」  
「気持ちいい……♡」

すんすん♡

すんすん♡

くちゅん

しゅん

しゅん

しゅん

くちゅん



口の中に...

ゴクッ...

汁が...流れ込んで...くる...

「はぁ♥あぁ...♥」

「君の口...気持ちいい♥」

「どんどん気持ちよくなって来る♥」

ぞし...

ぞし...

びしょ

ググ

びしょ

びしょ

びしょ



「んんっ♡」  
「んっ…?」  
ビクッて…もしかして…  
俺の口で…??

びくっ

びくっ  
びくっ

びくっ

びくっ  
びくっ

びくっ

びくっ

びくっ





「柔らかいおっぱいだね♡」  
「まるでマシマロみたい♡」  
「はあ…あつ…」

ドキ

ドキ

んんん♡

ドキ

んんん





「んっ！」

「ふふ♥かわいい乳首♥」

「グリクリ♥」

なんだ…全身に電気が走るみたいに…

「っく…っく…」

「んっ！」

「んっ！」

「んっ！」

「んっ！」

「んっ！」



「いい反応だね♡」

「やっぱり、おっぱいが弱点かな?♡」

「ちょっと…なんか…」

「変な…気分…っ!」

はぁ♡

ドキ

はぁ♡

ドキ

ドキ

はぁ♡

ドキ

はぁ♡

ドキ



「感じてる証拠だね♡」  
「沢山、攻めてあげる♡」  
乳首…こんなに感じるの…？  
全身が敏感になってるみたい…

すっ♡♡

すっ♡♡

すっ♡♡

すっ♡♡

すっ♡♡

っ♡♡



「おっぱいもだけど…」  
「これはどう？♡」  
「こうやって…おっぱいを攻めて…」  
「おま●こを…こすり合わせるの♡」



「おま」

「おま♡」

「んんっ!」

「君のおま●こも…濡れてきてるから…」

「すごい滑るね♡」

「ヌルヌルで気持ちいい♡」

「はぁ♡あぁ♡」

くちゅっ!!!

くちゅっ!!!

くちゅっ!!!

くちゅっ!!!





「はあ...はあ...」

「なんか...上がって...はあ...」

「ふふ♥イキそうっ♥♥イキそうなのかな♥♥」ぞく...

「いいよ♥ま●こ擦り付けながら...イッてる♥♥」

「君がイクのをま●こで感じたい♥」

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ



「身体：すごく熱いよ♡」

「ほら♡ほら♡」

「イッて♡イッて♡」

「初めての女の子の身体でイッて♡」

「私のおま●こでイッて♡」

「んっ」

「ぐちゅ♡」

「んっ」

「ぐちゅ♡」

「くちゅ♡」

「ぐちゅ♡」

「おま●こ♡」

「はあ♡♡」



「うっ!!はあああ」

「はあ♥あああ♥」

「ビクビクって...♥」

「気持ちいい♥」

「おま●こから伝わってくる♥」

「君の...気持ちいいのがあ♥」



びく...

おま♡

びく...

びく...

びく...

おま♡

おま♡

おま♡

「はあ...はあ...」  
熱い...なんだよ...これ...  
男の時より...気持ちいい...  
「どう??♡イッた感想は...??♡」  
「はあ...頭が...ぼーっとして...」



「はあ…はあ…すこかった…」

「はっ…私…」

「なんで…こんな事…」

「ごめんなさい…」

「いきなり…こんな事…」



?

「あつ……いや……」

「こんな……はしたない事……」

「き、嫌いに……なつたよね……?」

「えーそ、そんな事ないですよ!」



「ほ、本当……？」  
「う、うん！」  
「じゃ、じゃあ……明日……デートしてくれる？」  
「え？で、デート？」  
「……うん」



「もちろん！喜んで！」  
「本当に！良かった！」  
「じゃあ…行こうね！」  
「はい！」



「あつ……まずは服着ようか……？」

「あつ……そうですね……」

「誰か来たらまずいですがもんね……」

「うん……」

「なんか……私……変だな……」

「それじゃ…明日…」  
「うん。楽しみにしています。」





「ふう…疲れた…」  
「今日はすこかった…」  
まさか…告白成功…  
いや…それよりも…  
俺…女になっただよな…?」



「今更だけど……夢じゃないんだよね……？」  
あの祠……神様……  
それに……あんな事まで……  
思い出したら……またドキドキしてきた……  
もしかしたら、明日も……」



「自分の身体だもんな……」  
「ちよひんくろ……らんぞねっ」  
「あの神様も楽しんでるって言ったよ……」



「改めて見ると……」  
「本当に……ま●こだ……」  
「こんな風に見えるんだ……」  
「すげえ……」



「はあ……おお……」

「なんか……悪い事してる気分だけど……」

「ちよつと……だけ……」

「ちよつとだけなら……別……」

「んっ……」  
「やわらか……」  
「ま●こってこんなに……」  
あの時は……口で……  
そうか……俺……





思い出したら…なんか…  
「はあ…はあ…」  
「こう…かな…？」  
「んんっ…」

エエ

エエ

んんっ

んんっ

んんっ

エエ

エエ





ヌルヌルしてきた…  
「はあ…うっ…」  
すげえ…エロい…  
それに…気持ちいい…  
男の時と全然違う…

ぐちゃっ

ちゅっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ちゅっ

ちゅっ



んん♡

やばっ…これ…止まらないかも…

「はぁ♡はぁ…♡」

気持ちいい…

これ…中に入れたら…

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡



「んんっ!♥」  
「あっ……♥はあ♥」  
「温かい……ヌルヌルもすくくて……」  
「まん●こも……指も……」  
「気持ちいい……♥」

ぐちゃや

アッ  
アッ  
アッ

んん

んん

アッ  
アッ



「うっ……♡ふっ……♡」

中……気持ちいい……

これ……やばい……かも……

足の力が……抜けていく……っ!!

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

びしょ

びしょ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ



「はあ……♡はあ……♡」  
「女のオナニ気持ちいい……♡」  
「これ……止めれない……」

はあ♡

はあ♡

くちゅゅ…

くちゅゅ

はあ♡

くちゅゅ



「音……やばい……」  
これ……全部……俺の……  
熱い……おかしくなる……



ぐちゃぐちゃ

お♡♡♡んっ♡♡♡

「あぁっ♡はぁ♡」

「気持ちいいっ♡♡♡」

「はぁ…♡あっ♡♡♡」

上がってきた…あの感覚だ…

気持ちいいのが…上がってきた…

お♡♡♡

ぐちゃぐちゃ

んっ♡♡♡

ぐちゃぐちゃ

ちゅ♡♡♡

んっ♡♡♡

ぐちゃぐちゃ



もう……このまま……  
気持ちよく……  
我慢なんて出来ないよ……  
女……気持ち良すぎ……



お♡♡♡「おほっ…」  
イくらっ…♡イくらっ♡♡  
俺…また、この身体で…

ちゅちゅ

ちゅ

ぐちゅ

お♡♡♡

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ



「はあ♥はあ……♥」  
「やっちゃった……」  
廊下で……  
俺……

—お♡♡

—お♡

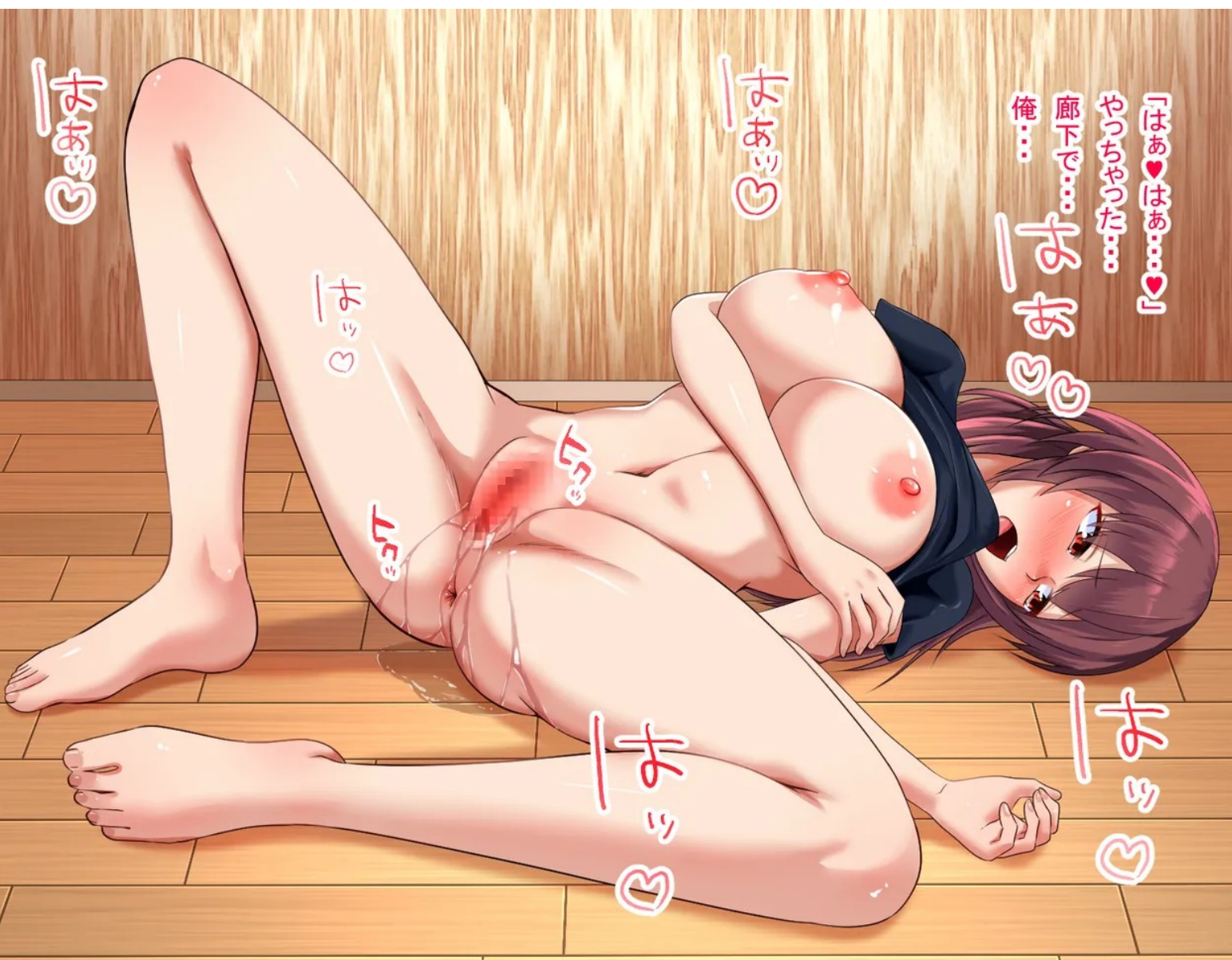
—お♡

—お♡

—お♡

—お♡

—お♡



掃除しないと…  
でも…しばらく動けない…  
こんな姿…  
誰にも…見せれないな…  
「ふう…はあ…」

どろ

はあ♡

ドキ

はあ♡

はあ♡

どろ

はあ♡

はあ♡

ギョ



「ぼつとある…」  
ちよつとだけ…休もう…  
休んだら…掃除と…  
明日の…準備を…

おっ♡

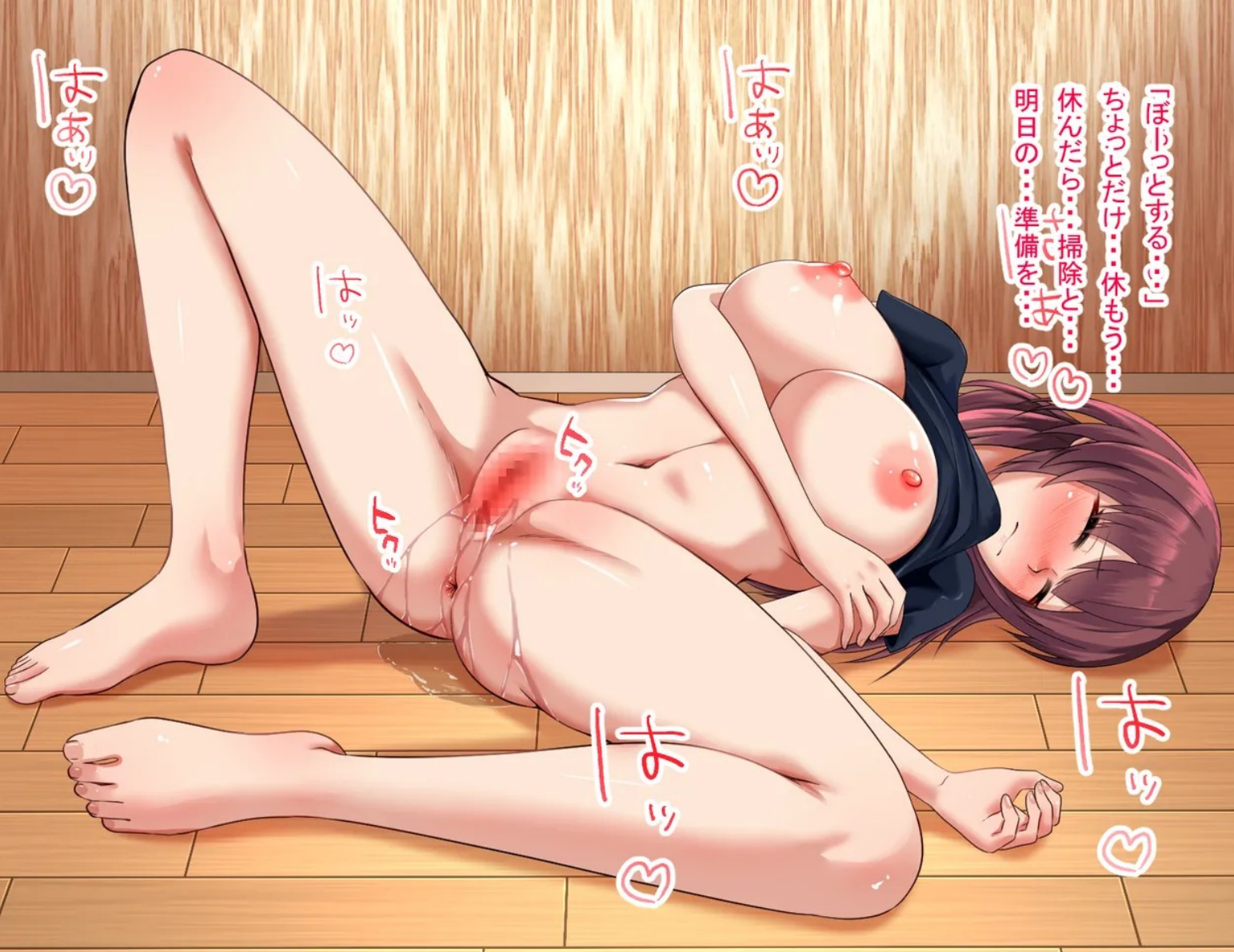
おっ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡



楽しみ…だな…  
どんな事…するのかな…?  
……

びしょ

はあ♡

ドキ

はあ♡♡

はあ♡

はあ♡♡

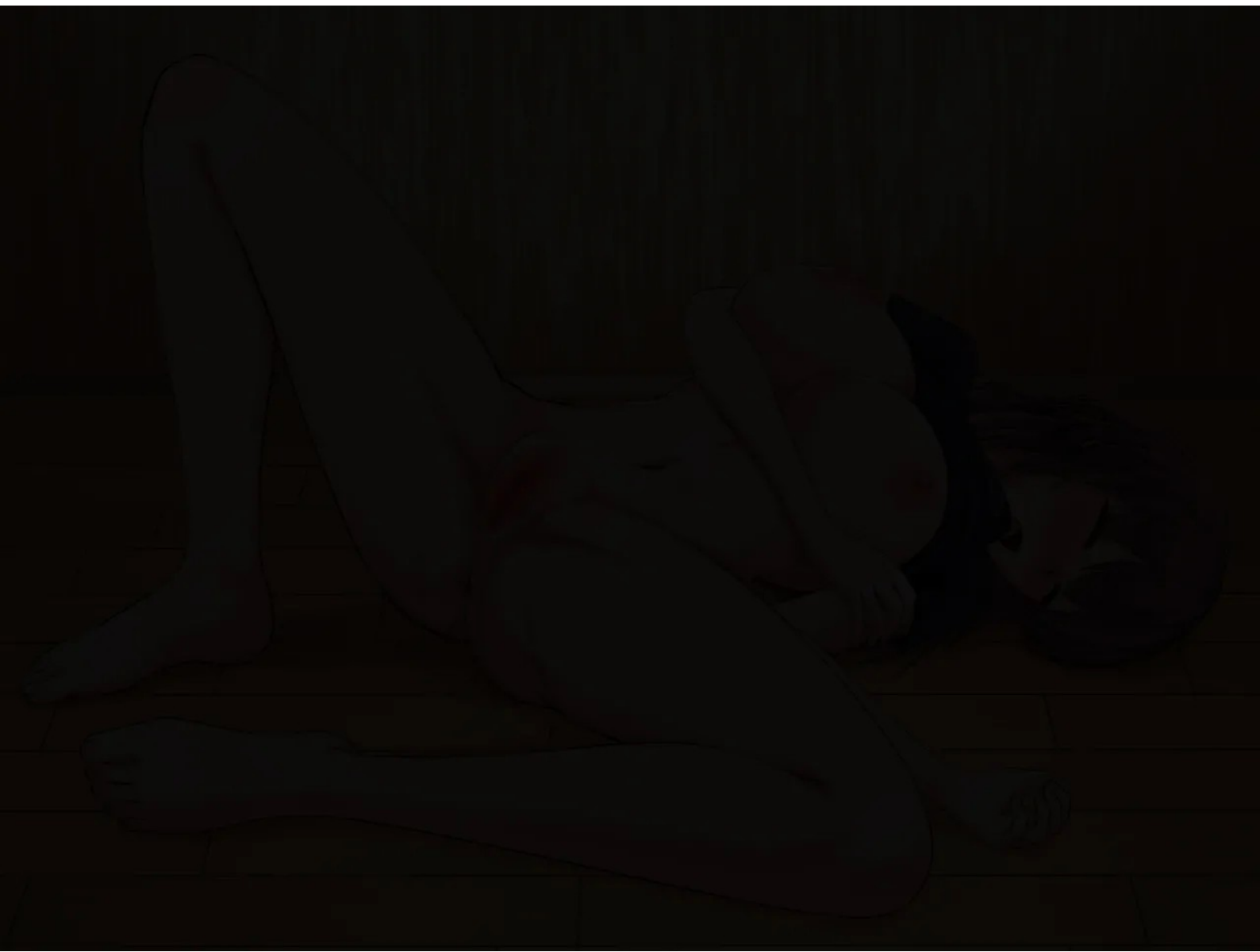
びしょ

はあ♡

びしょ







あのまま寝てしまった…  
もう待ってるかな…?  
時間はまだ大丈夫だけど…





「あつ...」  
「ん？あつおはよう」  
「おはようございませす...」  
「なんか...ちよつと気ませずいな...」  
「待ちました？」



「うん！さっき来たばかり」

「それなら…良かった…」

「今日は楽しもうね？♥」

「あっはい！」

「それじゃ…行こうか」

数時間後

「他にいききたい場所ありますか？」

「うん。そうだね」

「あつ！服買いに行こうよー！」

「服ですか？」





「うん！」  
「せっかくかわいい女の子になったのに」  
「男物しかないでしょ？」  
「だから可愛い服買いた行」  
「…なるほど…」



「似合うね！」

「そ、そうですか？」

「うん！素材がいいんだね！」

「他にも試したいな！」

「適当でいいですよ」

「駄目ー！」



「せっかくなんだから!」

「妥協はしたくないの!」

「それに…初デートなんだから!」

「!」

「そう…ですね…わかりました!」



「うんーこれだね！」

「すごく可愛い！」

「なんか…最初は恥ずかしかったけど…  
楽しいな…それに、嬉しいな」

「これに…します！」



「うん！」

「せっかくだし、これ来て行こうよ！」

「え？」

「すいませ〜ん！」

「これください！」



「今日は楽しかったですね」  
「うんー そうだね」  
「あの……このあとは……どうします？」  
「そうだね……じゃあ……」



「ここ入っちゃおうか♡」  
「え！ホテルですか？」  
「うん♡嫌？」  
「いや…嫌では…でも…」



「君は…したくない？」  
「え？」  
「それに…歩き回って疲れたしさ…」  
「ちよつと休んでいこうよ♥」  
「えっと…いいんですか？」



「もちろん♡」  
「はいよ♡」  
「入ろう♡」  
「そうですね…わかりました…」  
「ふふ♡」



「すごい…緊張してきた…」  
「シャワーだけ浴びちゃおう?」  
「結構汗とかかいちゃったし」  
「それもそうですね」



「一緒に入る?♡」

「え!」

「ふふ♡照れちゃって」

「かわいいね!」

「冗談だよ。先に入って♡」

「あっ...はい」

冗談か…  
ちよつと期待しちゃったな…





「ふう……」  
ホテルまで来ちゃったな……  
やっぱり……このあと……やるんだよな……  
昨日みたいに……



!!?

「え…?」

「やっほ〜♡」

おっほっほ

「我慢出来なくて来ちゃった♡」

「一緒に浴びよう?♡」

「え…あつ…」

背中…当たってるのが…わかる…

「いいでしょ?♡」

「う、うん…」





「なんか……すいドキドキしてるね♡」

「触れてるからわかるよ♡」

「そ、それは……」

背中でも、彼女の身体を感じれる……

触れてるだけでも気持ちいい……

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

「ちゃんとキレイにしないとね…♥」

「今日は私が洗ってあげるよ♥」

「じ、自分であ、洗うよ…」

「え？嫌なの？」

「せつかく一緒に入ったんだよ？♥」

「洗っしょうよ♥」



俺…理性たもてるか…?  
「じゃ、じゃあ…うん…」  
「ふふ♥やった♥」





「さっぱりしたね♥」

「うん…」

「なんとか…耐えた…」

「じゃあ…始めちゃう?♥」

ホカ

ホカ



「なんか……さっきはすい我慢してたよねっ♡」

「え！」

「ふふ♡わかるよ♡」

「今からの我慢はなくていいからね♡」

「私も我慢しないから♡」



「ん…」

「一緒に気持ちよくなろうねっ♡」

「うん…」

「私が教えてあげる♡」

「女の子同士セツ●ス…♡」

んんん



「んっ...」

「君のおっぱい...♡」

「やっぱり気持ちいいね♡」

「はあ...んっ...」

「気持ちいい...」

「この人に触られてる時が...」

んっ♡

んっ?

んっ♡

♡  
もみ

♡  
もみ

んっ?



「おっぱい触ってる時…」

「君、すく気持ちはおどろく♡」

「うん…好き…」

「ふふ♡そうなんだ♡」

「いいこと聞いたな♡」

「じゃあ、もう少しもんであげる♡」

もみ

もみ

もみ

もみ

もみ

もみ

もみ



「はあ……♡はあ……♡」

「身体……熱くなって来たね♡」

「うん……気持ちよくて……なんかフワフワする」

「いいね♡」

「もっと、フワフワして♡」

「うん……♡」

お腹の下辺りが……ポカポカする……

あのと時の感覚だ……

どくっ

キゅん♡

かきゅん♡

はっ♡

はあ♡

はあ♡

どくっ



「そろそろ……他の場所も……♡」

「攻めてあげるね♡」

「うん……」

「じゃあ……脚開いて?♡」

「え!?!」



「おま●こ舐めてあげる♡」  
「昨日は君が舐めてくれたもんね♡」  
「今日は私がしてあげる♡」  
「んんっ！♡はあ…あっ♡」  
「なんだ…すこい…これ…」



「もう、濡れてる♡」  
「おっぱいで感じてたんだね♡」  
「はあ…♡恥ずかしい…♡」  
「割れ目もしっかり舐めてあげる♡」  
「んんっ♡」  
指とは違って…ヌルヌルで温かいのが…  
指より気持ちいい…



「はあ♥あっ♥」

「き、気持ちいい…♥」

「君のおま●こ…すごく美味しいよ♥」

「どんどん汁が溢れてくる♥」

ぞっ…

びちゃや

ちゅ

びんびん

はあ♥

くちゅ

くちゅ

びんびん

くちゅ

くちゅ





くちゅん

やばい…アレがあがって…くる…  
「だ、駄目…♡」  
「あっ♡もっ…♡♡」

くちゅん

くちゅん

くちゅん

くちゅん

くちゅん

くちゅん

くちゅん



「んんっ♡♡」

「はあ♡あれ♡♡」

「イツちやうた♡♡」

「この感じ…ヤバすぎ…♡」



「まだ……イけるでしょ？♡」  
「うん……大丈夫♡」  
今日は……もっと……長く……  
したい……♡

「今日はふたりっきりだからね♡」  
「思う存分しないとね♡」  
「そうだね♡」





「好きだよ♡」  
「え…うん♡俺も…♡」  
「なんだよ…急に…」  
「すく…嬉しいんだけど…」  
「言葉でも愛を伝えない♡」



「あっ♥はあ♥」

「これ…気持ちいい♥」

「おま●こが…擦り合うの…気持ちいい♥」

「もっと…もっと…♥」

「私のおま●こも…もうグチヨグチヨだから」

「すごいエッチな音なるね♥」

はあ♥

くちゅ

はあ♥

くちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

はあ♥

はあ♥

くちゅ

はあ♥



ま●こ汁が混じり合ってるみたい...  
おっぱい...おっぱい...  
こね...こね...

おっぱい

ぐちゃぐちゃ

もよおす

ぐちゃぐちゃ

もよおす

ぐちゃぐちゃ

おっぱい

ぐちゃぐちゃ

もよおす

もよおす

ぐちゃぐちゃ



「やば…これ…腰止まらないね♥」

「と、止めないで…♥」

「もっとしてほしいから…♥」

「止めないよ♥おかしくなっても♥」

「止めてあげない♥」

「うん…♥」

くちゅ

はぁ

ん

くちゅ

くちゅ

くちゅ

はぁ

ん

はぁ

はぁ

くちゅ



「気持ちいい...♡はあ♡」  
「んっ♡す♡ん♡♡♡」  
「まひ...まひ...♡♡」

んっ♡  
まひ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡



熱い…熱い…❤

「はぁ♥あつはぁ♥」

身体が…熱い…❤

セツ●ス…気持ちいい❤

気持ちいいよ…❤

「はぁ♥はぁ♥」

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ





「はあああああ♥♥♥」  
「んんっ♥♥♥いいいい♥♥♥」  
ああああああ気持ちいいいい  
イクの気持ちいいいい♥♥♥







「はぁ♡ふっ♡♡♡」  
「気持ち良かったね♡♡」  
「うん…すごく良かった♡」



「あーっ」

「んっ」

「もう少し…ニラしてたい♥」

「んん♥んん♥」

「んんんんん♥」

「んん♥」



「好き…です♥」

「私もだよ♥」

「君が女の子になってくれて…良かった♥」

「これで…君を愛せる♥」

「嬉しい♥」



「ちよつと休んだら…また愛し合っ♡」

「うん♡」

「時間ギリギリまでやるっ♡」

「うん♡」



「やっぱりいいことした後は気分がいいな」  
「あの女の子の望みも一緒に叶えた形になるし」  
「石二鳥だったな」

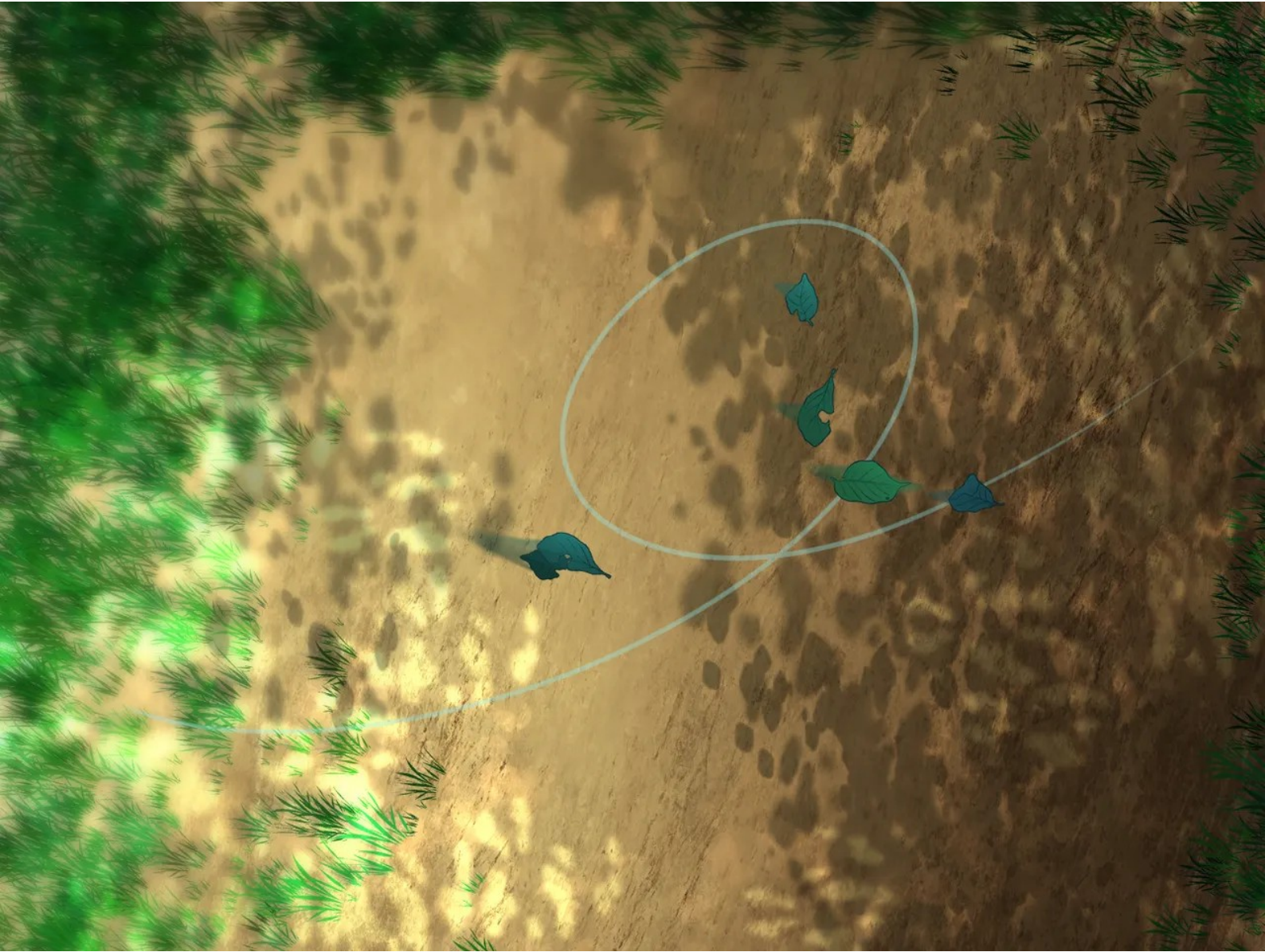


「これで結構稼げたんじゃないかな？」  
「早く沢山願い叶えて自由になりたいな」と



「次は…いつになるかな…?」  
「それまではまた寝てるか…?」





読んでもなまきありがいていねるまか。

次のページからまおくーんになるまか。

ま〜ん

























































